

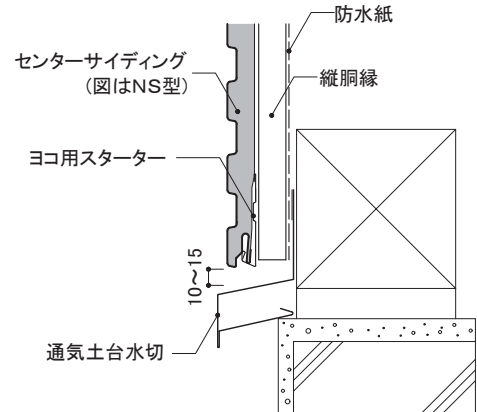
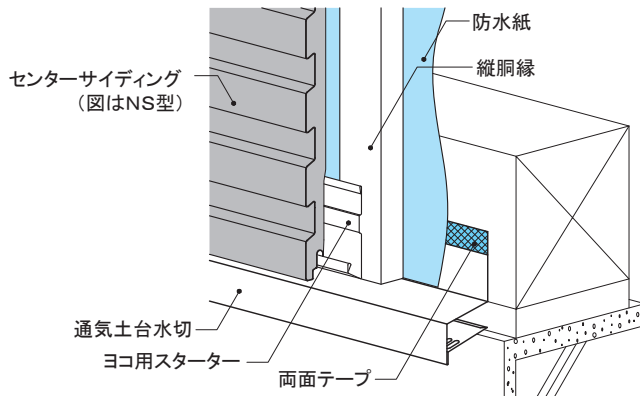
2 各部の基本納まり図

2-1 土台部

3) センターサイディングの留め付けについて

① 横張りの場合

- ヨコ用スターターは、水平に十分留意して木下地の場合は専用釘(φ2.3mm×38mm)を用いて500mm以下の間隔で、鉄骨下地の場合は専用ビス(P35)を用いて610mm以下の間隔で胴縁に留め付けます。

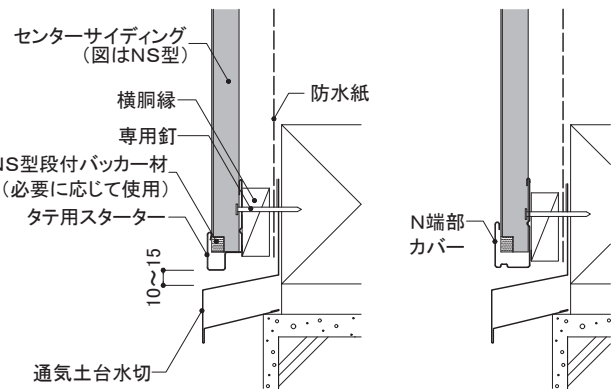
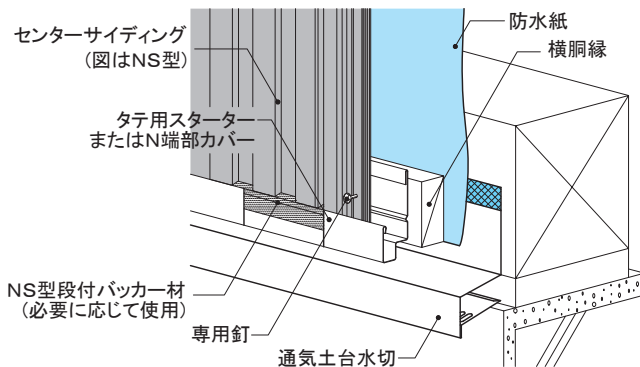


② 縦張りの場合

- 縦張りは本体のみで施工する仕様と、タテ用スターターや(N)端部カバーを使用して施工する仕様があります。
- 使用する(N)端部カバーや見切縁は型によって表のように異なります。見切縁を使用する場合は、見切縁底部に水抜き穴(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。
- 端部カバーなどは、水平に十分留意して、木下地の場合は専用釘(φ2.3mm×38mm)を用いて500mm以下の間隔で、鉄骨下地の場合は専用ビス(P35)を用いて610mm以下の間隔で胴縁に留め付けます。

表 部材の設定

M型、NS型、ST型、F型、シリーズ、FB型、FN型、A型、D型	(N) 端部カバー
※ (N) 端部カバー以外の見切縁は、水抜き穴(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。	
M型、NS型、ST型、FN型	タテ用スターター



- 本体のみで施工する仕様は切断部が露出します。芯材の吸水防止のために、切断部の芯材を10mm程度取り除きます。

